

第63回男子・第36回女子全日本学生ホッケー選手権大会 結果報告

第63回・第36回女子男子全日本学生ホッケー選手権大会

第 2 日

開催日時 11 月 2 日 (日) 会場 岐阜県グリーンスタジアム 天候 曇り

【全試合結果】

A第1試合 女子	早稲田大学	6	$\begin{pmatrix} 3 - 0 \\ 3 - 0 \end{pmatrix}$	0	関西大学
9:30					
A第2試合 女子	東海学院大学	10	$\begin{pmatrix} 4 - 0 \\ 6 - 0 \end{pmatrix}$	0	同志社大学
11:10					
A第3試合 男子	立命館大学	4	$\begin{pmatrix} 2 - 1 \\ 2 - 0 \end{pmatrix}$	1	慶應義塾大学
12:50					
A第4試合 男子	中京大学	0	$\begin{pmatrix} 0 - 1 \\ 0 - 1 \end{pmatrix}$	2	駿河台大学
14:30					
B第1試合 女子	関西学院大学	1	$\begin{pmatrix} 0 - 1 \\ 1 - 0 \end{pmatrix}$	1	駿河台大学
9:30					SO 1-4
B第2試合 女子	慶應義塾大学	1	$\begin{pmatrix} 1 - 0 \\ 0 - 1 \end{pmatrix}$	1	学習院大学
11:10					SO 5-4
B第3試合 男子	学習院大学	0	$\begin{pmatrix} 0 - 10 \\ 0 - 12 \end{pmatrix}$	22	天理大学
12:50					
B第4試合 男子	朝日大学	6	$\begin{pmatrix} 2 - 2 \\ 4 - 0 \end{pmatrix}$	2	甲南大学
14:30					

会場 岐阜総合学園高等学校

第1試合 9:30	東海学院大学	0	$\begin{pmatrix} 0 - 2 \\ 0 - 1 \end{pmatrix}$	3	聖泉大学
第2試合 11:10	明治大学	1	$\begin{pmatrix} 1 - 1 \\ 0 - 0 \end{pmatrix}$	1	東京農業大学
第3試合 12:50	神戸大学	0	$\begin{pmatrix} 0 - 6 \\ 0 - 7 \end{pmatrix}$	13	山梨学院大学
第4試合 14:30	早稲田大学	3	$\begin{pmatrix} 1 - 0 \\ 2 - 1 \end{pmatrix}$	1	法政大学

【各試合の結果・詳細】

Aコート

第1試合

早稲田大学 6 $\begin{pmatrix} 3 & - & 0 \\ 3 & - & 0 \end{pmatrix}$ 0 関西大学

<得点>

早稲田大学 : 11分小澤、17分高橋、25分小澤、43分青山、66分藤本、69分村山

関西大学 :

<戦評>

関西大学のセンターパスにより前半戦が開始。6分早稲田大学#4八木澤がリバースシュート狙うが惜しくも枠を外れる。11分早稲田がPCを取得。#八木澤のプッシュを#10小澤が合わせて先制点を挙げる。17分早稲田がPCを取得。早稲田#3長谷川のスイープシュートを、関西GK#1小谷が好セーブをするも、早稲田#8高橋がリバウンドを押し込み2-0とする。ペースを握った早稲田は25分にPCを取得。#10小澤のリバウンドで追加点を挙げる。関西大も終了間際にチャンスを迎えるが、惜しくも得点にはならず、3-0で前半戦を折り返した。後半戦が開始され、43分早稲田#5瀧澤がヒットシュートを決めて4-0とする。47分に関西がPCを取得するも、早稲田の守備に阻まれ得点には至らない。その後は打ち合いが続き、両者共になかなかチャンスを得られない。66分早稲田#11藤本のスイープシュートが決まり5-0とする。終了間際69分PCを取得した早稲田#15村山のスイープシュートが決まり6-0とする。そのまま試合は終了し、早稲田が次にコマを進めた。

テクニカルオフィサー	栗原 和世	アンパイア	朝倉 紀英
ジャッジ	荻谷 和代	リザーブアンパイア	千野 雅人
	梶田 賢二		渡辺 健一

第2試合

東海学院大学 10 $\begin{pmatrix} 4 & - & 0 \\ 6 & - & 0 \end{pmatrix}$ 0 同志社大学

<得点>

東海学院大学 : 8分清水、21分鳥山、31分佐々木、33分真野、36分佐々木、37分清水、44分佐々木
49分八木、64分清水、67分森田

同志社大学 :

<戦評>

同志社大学のセンターパスにより前半戦が開始。同志社が攻めるも、8分東海学院大学の猛攻撃により#9清水のシュートが決まり先制点を挙げる。21分#18高橋が右からの回り込みで放ったボールを#26鳥山が合わせ2-0。対する同志社もパスを繋ぎチャンスをつかおうが、東海学院の堅い守備により阻まれる。31分東海学院がPCを取得。#6佐々木のヒットシュートにより3-0。33分波に乗った東海学院は#8真野のヒットシュートにより4-0とし、前半戦を折り返した。後半戦の開始早々、36分東海学院#6佐々木のリバースシュートが決まり5-0となる。立て続けに37分東海学院#9清水のヒットシュートが決まり6-0。44分東海学院がPCを取得。#佐々木がヒットシュートを決めて7-0。49分東海学院#24八木が敵をかわし、ヒットシュートを決め8-0。同志社も速いリスタートからサークルインするも東海学院の堅い守備に阻まれる。同志社は粘り強い守備を見せるも64分東海学院#9清水が決め9-0。立て続けに67分東海学院#11森田がゴール前で合わせて10-0。同志社も最後まで攻めるもチャンスを抑えずそのまま試合は終了し、東海学院が次にコマを進めた。

テクニカルオフィサー	松下 正寿	アンパイア	我妻 順子
ジャッジ	大河内 広之	リザーブアンパイア	脇本 絵麗奈
	浅野 一生		松原 久

第3試合

立命館大学 4 $\begin{pmatrix} 2 & - & 1 \\ 2 & - & 0 \end{pmatrix}$ 1 慶應義塾大学

<得点>

立命館大学 : 13分河野、25分大橋、46分河野、56分落合

慶應義塾大 : 11分下山

<戦評>

慶應義塾大学のセンターパスにより前半戦が開始。立ち上がりから激しい攻防が繰り広げられる。11分慶應義塾#8宮坂のヒットシュートに#10下山が合わせ先制点を挙げる。13分立命館大学#6河野がプッシュシュートを決め一点を取り返し1-1とする。立命館がペースを掴み優位に試合を進め、25分立命館がPCを取得。#9大橋がドラッグで決めて逆転し、2-1とする。その後は慶應義塾も果敢に攻撃を仕掛けるが、立命館の堅い守備により阻まれる。前半戦終了間際、立命館がPCを取得するも得点には繋がらず、前半戦を折り返した。

後半戦が開始され、追い付きたい慶應義塾は攻撃を仕掛けるが、立命館の堅い守備に阻まれカウンターを受ける。46分立命館#6河野のヒットシュートで追加点を決め2-1とする。52分立命館がPCを取得。#7林がドラッグシュートを打つが、慶應義塾GK#2本名の好セーブにより得点には至らない。56分に再び立命館がPCを取得。#11落合がドラッグシュートを決め4-1とする。慶應義塾は果敢に攻めるも立命館の勢いにおされ、そのまま試合は終了し、立命館が次にコマを進めた。

テクニカルオフィサー	乗原 和世	アンパイア	近藤 聡史
ジャッジ	荻谷 和代	リザーブアンパイア	野澤 達
	梶田 賢二		朝倉 紀英

第4試合

中京大学 0 $\begin{pmatrix} 0 & - & 1 \\ 0 & - & 1 \end{pmatrix}$ 2 駿河台大学

<得点>

中京大学 :

駿河台大学 : 3分大石、70分生方

<戦評>

駿河台大学のセンターパスにより前半戦が開始。立ち上がり駿河台が攻め込み2分、PCを取得。#2大石のドラッグシュートが決まり先制点を挙げる。その後も攻める駿河台だが、中京大学の粘り強い守備により得点には至らない。激しい攻防が繰り広げられるものの、互いにチャンスを生かすことが出来ず、1-0のまま前半戦を折り返した。

後半戦に入り37分、駿河台がPCを取得。中京の堅い守備に阻まれ得点には至らない。41分に再び駿河台がPCを取得。惜しくも枠を外れる。中京は果敢に攻め、安定した展開から駿河台のゴールを攻めるも得点には繋がらない。48分駿河台がPCを取得。追加点には至らない。対する55分中京がPCを取得。駿河台GK#1藤井の好セーブにより得点を阻まれる。互いに得点には繋がらない苦しい戦いが続くなか、駿河台#5高橋がリバースシュートを打つも、中京GK#12佐藤の好セーブにより得点には繋がらない。試合終了間際70分に駿河台がPCを取得。#9生方がゴール前で合わせて得点して2-0とし、駿河台が勝利した。

テクニカルオフィサー	松下 正寿	アンパイア	松原 久
ジャッジ	大河内 広之	リザーブアンパイア	常喜 浩幸
	浅野 一生		脇本 絵麗奈

Bコート
第1試合

関西学院大学 1 $\begin{pmatrix} 0 & -1 \\ 1 & -0 \end{pmatrix}$ 1 駿河台大学
SO 1-4

<得点>

関西学院大学：61分今井

駿河台大学：14分武井

<戦評>

関西学院大学のセンターパスにより前半戦が開始。駿河台大学は素早いチェックで相手のミスを誘い攻撃に繋げる。駿河台の攻撃が進む中、6分関学#16佐野夏がドリブル突破からPCを取得しチャンスをつくるも、決めきることが出来ない。対する駿河台も8分にPCを取得し先制点を狙うが関学GK#1馬場に阻まれ得点には至らない。その後駿河台は12分、14分にPCを取得。#2武井がこぼれ球を押し込み先制点をあげる。追いつきたい関学は26分、27分、28分に連続でPCを取得するも駿河の堅い守備により得点することができない。1-0で駿河台大学がリードで前半戦を折り返す。

後半戦が始まり両チームとも相手陣内に持ち込み得点を狙うも決めきることが出来ず激しい攻防が続く。駿河台は右攻撃から相手を崩し得点を狙う。対する関学はセンターリングを多用し駿河台のゴールに迫る。61分関学はセンターリングに対し、ゴール前で構えていた#13今井がブッシュで押し込み1-1の同点とする。その後一歩も譲らない激しい攻防が進むが、両チームとも追加点を挙げることが出来ずSO戦となった。

SO戦は先攻の駿河台#10尾崎が大きく右にかわして決める。後攻の関学は枠をとらえることが出来ず1-0とする。二人目はお互いに決め2-1となる。三人目は駿河台#14坂西がブッシュシュートを決め、3-1とする。関学#16佐野は右にかわしブッシュシュートを打つが左に抜ける。四人目の駿河台#3小川美はリバースヒットシュートでネットを揺らし4-1で駿河台大学が勝利した。

テクニカルオフィサー	大橋 守	アンパイア	藤原 真由美
ジャッジ	細江 秀和		山口 千恵美
ジャッジ	岩田 順充	リザーブアンパイア	森本 道理

第2試合

慶應義塾大学 1 $\begin{pmatrix} 1 & -0 \\ 0 & -1 \end{pmatrix}$ 1 学習院大学
SO5-4

<得点>

慶應義塾大学：15分松島

学習院大学：57分柴田

<戦評>

学習院大学のセンターパスにより前半戦が開始。立ち上がりから一進一退の攻防が続く。試合が動いたのは14分、慶應義塾がPCを取得し#20松島がリバウンドを押し込み先制点を挙げる。19分、再び慶應はPCを取得するが学習院GK#1西島が好セーブを見せ追加点を許さない。追いつきたい学習院は素早いプレッシャーからボールを奪い慶應陣内に持ち込むがなかなか決めきることが出来ない。その後も慶應が試合の主導権を握るが得点には至らず1-0で前半戦を折り返す。

後半に入り慶應は#15吉本を中心に攻撃を組み立てる。#15吉本から絶妙な縦パスが繋がりに#5原がシュートを打つが、学習院GK#1西島がセーブする。対する学習院は47分、PCを取得。リバウンドを押し込もうとするが、慶應の堅い守備に阻まれ得点には至らない。その後も20分、21分と立て続けにPCを取得するもチャンスを活かさない。22分慶應DFの反則からPSを取得する。#7柴田が左に落ちて決めて、1-1に追いつく。そのまま両チームとも追加点を奪うことが出来ずSO戦となった。

SO戦は、一人目はお互いに決め1-1となるが二人目はお互いに外す。三人目はお互いに決め同点のまま四人目を迎える。四人目はお互いに外し、五人目がお互いに決めサドンデスとなる。サドンデス一人目はお互いに決め、二人目はお互いに外す。三人目学習院#4富田はフェイントをしたがGK#1寺岡にカットされ決めることが出来ない。慶應#17武山はGKの足元を狙いシュートを決め5-4で慶應義塾大学が勝利した。

テクニカルオフィサー	鹿野 育郎	アンパイア	水谷 理恵
ジャッジ	岩田 武男		山中学
ジャッジ	鳶木 勝	リザーブアンパイア	渡邊 道彦

第3試合

学習院大学 0 $\begin{pmatrix} 0 & -10 \\ 0 & -12 \end{pmatrix}$ 22 天理大学

<得点>

学習院大学 :
天理大学 :

<戦評>

学習院大学のセンターパスにより前半戦が開始。4分天理大学#6落合がリバウンドを押し込み先制点を挙げる。さらに5分、左からのセンターリングを#13山城がタッチシュートしリードを広げる。学習院もキャプテン岩波を中心としてパスを組み立て、天理陣内に攻め込むがチャンスを得られない。天理は勢いに乗り10分#15石川、13分#8膳棚、19分#19瀧澤、21分#12橋本がシュートを決め、6-0としリードを広げる。一点が欲しい学習院は右サイドを中心に攻撃を仕掛けていくが、なかなか攻めることが出来ない。勢いの止まらない天理はその後も4点を追加し10-0で前半戦を折り返す。
後半に入っても天理ペースで試合は進む。41分天理#21和久利がタッチシュートを決める。対する学習院もシュートを打つが点を取ることが出来ない。その後も天理は43分、49分、51分、54分、55分と追加点を挙げる。学習院は天理の猛攻を受けながらも攻める姿勢をやめることなく大きなアウトレットから相手の隙を狙う。しかし天理は58分、62分、63分、66分に4点を追加し20-0と大幅に点差を広げる。さらに2点を追加し、22-0で天理大学が圧勝した。

テクニカルオフィサー	大橋 守	アンパイア	渡辺 健一
ジャッジ	細江 秀和		穴井 孟司
ジャッジ	岩田 順充	リザーブアンパイア	藤原 真由美

第4試合

朝日大学 6 $\begin{pmatrix} 2 & -2 \\ 4 & -0 \end{pmatrix}$ 2 甲南大学

<得点>

朝日大学 : 11分川畑、22分久保山、43分森、54分武田、58分武田、67分森
甲南大学 : 9分中井、31分杉野

<戦評>

甲南大学のセンターパスにより前半戦が開始。朝日大は大きな展開からサイドラインを使った攻撃を仕掛けるが先制点を奪えない。9分甲南#3中井が右側からプッシュシュートを決め先制点を挙げる。先制を許した朝日は10分、11分と立て続けにPCを取得し#21川畑がタッチシュートを決め1-1の同点となる。その後、両チームとも得点がないまま試合が進む。22分朝日はPCを取得。#15久保山がタッチシュートをきめ2-1となる。リードを許した甲南は#4藤門、#18斉藤の巧みなドリブルやパスワークで朝日陣内をおびやかす。31分甲南はPCを取得。#2杉野がタッチシュートを決め同点とし前半戦を折り返す。
後半開始早々、41分朝日はPCを取得するも得点には至らない。43分朝日#9森が豪快なリバースヒットシュートを決め待望の追加点を挙げる。甲南は早いリスタートから朝日陣内に攻め込みシュートを打つも決めきることが出来ない。その後は朝日のペースで試合は進み、54分、58分にPCから#4武田が強烈なドラッグシュートを決め5-2とリードを広げる。点差を縮めたい甲南も攻め上がるが、なかなかサークルに入ることが出来ない。67分朝日は左からの回り込みのボールに#9森がうまく合わせ6-2で勝利した。

テクニカルオフィサー	鹿野 育郎	アンパイア	渡邊 道彦
ジャッジ	鳶木 勝		森本 道理
ジャッジ	岩田 武男	リザーブアンパイア	山中 学

Cコート
第1試合

東海学院大学 0 $\left(\begin{array}{c} 0 - 2 \\ 0 - 1 \end{array} \right)$ 3 聖泉大学

<得点>

東海院大 :
聖泉大 : 24分 #13伊藤、26分 #3齋藤、62分 #2中島

<戦評>

東海学院大学のセンターパスにより前半戦が開始された。開始早々から聖泉大学のペースで試合が進み、前半2分、7分にPCを聖泉大が獲得するが、東海院大の堅守に阻まれ得点できず。一方、東海院大はカウンターから果敢に攻めるも得点チャンスに至らない。前半24分、聖泉大はPCを獲得し、#13伊藤がスリーブシュートを決め先制点をあげる。流れに乗った聖泉大は、前半26分にもPCを獲得し、#3齋藤がフリックシュートを決め2-0とし、東海院大を突き放し前半戦を折り返す。
聖泉大のセンターパスにより後半戦が開始された。両チーム激しい攻防が続く中、40分聖泉大がPCを獲得するが、タッチシュートが外れる。東海院大は、55分にPCを獲得がこのチャンスをもものにすることができない。62分聖泉大は、サイドからのパスを#2中島が落ち着いてシュートを決め3-0とした。得点が欲しい東海院大は、サイド攻撃で果敢に攻めるが、決定的なチャンスを作ることもできず、3-0で聖泉大が勝利し準々決勝に駒を進めた。

テクニカルオフィサー	倉嶋 勇	アンパイア	成田健一
ジャッジ	後藤憲則・大橋俊彦		堀江紀之

第2試合

明治大学 1 $\left(\begin{array}{c} 1 - 1 \\ 0 - 0 \end{array} \right)$ 1 東京農業大学
3 SO 0

<得点>

明治大 : 32分 #10安部
東農大 : 16分 #19和氣

<戦評>

東京農業大学のセンターパスにより前半戦が開始された。両チームとも激しい攻防が繰り広げられる中、前半11分明治大学がPCを獲得するが得点することができない。一方、東京農大は前半16分、#19和氣がこぼれ球をリバースシュートを決め先制点をあげる。前半20分、明治大はPCを獲得するが、東京農大のGK #15植田の好セーブで得点することができない。しかし、前半32分、明治大はPCを獲得し、#10安部がGKのリバウンドを押し込み1-1の同点とする。前半終了間際には、東京農大がPCを獲得するが決めることができず、同点のまま前半戦を折り返す。
明治大のセンターパスにより後半戦が開始された。東京農大は、40分・45分・49分にPCを獲得するが、得点には至らず。対する明治大も57分にPCを獲得するが、得点することができず1-1の同点。SO戦となった。SO戦は、明治が3-0で勝ち準々決勝に駒を進めた。

テクニカルオフィサー	今庄充世	アンパイア	高橋英行
ジャッジ	辻 幹彦・川出和弘		木下英貴

第3試合

神戸大学 0 $\begin{pmatrix} 0 & - & 6 \\ 0 & - & 7 \end{pmatrix}$ 13 山梨学院大学

<得点>

神戸大 :
 山梨院大 : 6分#7原田、8分・14分・26分#2安部、21分・57分・57分・70分#10松本、32分#3長岡、36分・53分・61分#25山崎晃、64分#21河村

<戦評>

山梨学院大学のセンターパスにより前半戦が開始された。開始から山梨院大のペースで試合が進み、前半6分#7原田が、サイドからのパスを受けヒットシュートを決め先制点をあげる。更に前半8分には、PCを獲得し#2安部がフリックシュートを決め2-0とする。一方、神戸大学はカウンターで敵陣に攻め込むが、山梨院大の堅い守備に阻まれる。前半14分、山梨院大の#2安部がPCから再びフリックシュートを決め3-0と突き放す。更に、前半21分#10松本、26分には#2安部がPCからフリックシュートを決め5-0。前半32分に#3長岡がヒットシュートを決めて6-0とし、前半戦を折り返した。
 神戸大のセンターパスにより後半戦が開始された。後半になっても山梨院大の猛攻が続き、36分#25山崎晃がリバウンドを押し込み7-0とする。その後も山梨院大の攻撃が止まず、53分#25山崎晃・57分#10松本(2本)・61分#25山崎晃・64分#21河村が得点をあげ、12-0とする。

テクニカルオフィサー	倉嶋 勇	アンパイア	山本 誠
ジャッジ	後藤憲則・大橋俊彦		石橋徹也

第4試合

早稲田大学 3 $\begin{pmatrix} 1 & - & 0 \\ 2 & - & 1 \end{pmatrix}$ 1 法政大学

<得点>

早稲田大 : 10分#2田中、40分#9鶴飼、51分#9鶴飼
 法政大 : 41分#11後藤

<戦評>

法政大学のセンターパスにより前半戦が開始された。前半10分、早稲田大学がPCを獲得し、#2田中がフリックシュートを決め先制点をあげる。その後、一進一退の攻防が続く中、法政大学は前半25分・28分にPCを獲得するが得点することができない。1-0で早稲田大のリードで前半戦を折り返した。
 早稲田大のセンターパスにより後半戦が開始された。40分、早稲田大の#9鶴飼がサークルトップでボールを受け、スイープシュートを決め追加点をあげる。その直後の41分、法政大の#11後藤がヒットシュートを決め反撃。2-1とし1点差に詰め寄る。50分には、早稲田大の#9鶴飼がドリブルで持ち込み、そのままヒットシュートを決め3-1とし再び突き放す。追いつきたい法政大は、終了5分前(65分)にパワープレーを仕掛け猛攻するが、早稲田大の堅い守備を破ることができず3-1のまま試合終了。早稲田大学が準々決勝に駒を進めた。

テクニカルオフィサー	今庄充世	アンパイア	Fong Geng
ジャッジ	辻 幹彦・川出和弘		細川祐司